

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回 宮崎市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和5年7月20日(木) 午前10時00分～午前11時50分
開催場所	宮崎市上下水道局4階 大会議室(宮崎市鶴島3丁目252番地)
会長氏名	鈴木 祥広
出席者氏名 (委員)	鈴木会長、中川委員、清家委員、河野委員、岩切(千)委員、肥田木委員、清水委員、早瀬委員、工藤委員、圖師委員、佐々木委員(計11名)
欠席者氏名 (委員)	藤崎委員、時任委員、深野木委員、岩切(典)委員(計4名)
事務局	下郡上下水道局長、武田管理部長、田淵水道部長、仁田脇下水道部長、大木総務課長、高力財務課長、矢野料金課長、飯干給排水設備課長、永山水道整備課長補佐、徳永配水管理課長、山元浄水課長、大谷営業所工務課長、川元下水道整備課長、中野下水道施設課長、長倉財務課長補佐、徳永主幹、池島主査、渡部主査、黒木主査、柳田主任主事
傍聴者	一般傍聴者 1名、報道関係者 2名
次第	諮 問 「みやざき水ビジョン2020」及び「宮崎市上下水道局経営戦略」の改定等について 議 事 (1)「みやざき水ビジョン2020」及び「宮崎市上下水道局経営戦略」の改定について (2)適正な上下水道料金のあり方について

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>【開会】 開会を宣言。</p> <p>【委員出欠状況報告】 本日は、委員15名中11名にご出席いただいている。 宮崎市上下水道事業経営審議会条例第5条第3項により、半数以上の委員が出席されているので、本会議が成立していることを報告する。</p> <p>それではここで、市長から審議会に対して諮問がある。</p> <p style="text-align: center;">[市長・会長] 諮問書手交</p> <p>ここで、市長がごあいさつ申し上げる。</p>
市長	<p>「令和5年度第2回 宮崎市上下水道事業経営審議会」が開催されるにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。</p> <p>審議会委員の皆様にはお忙しい中ご協力を賜り感謝申し上げます。</p> <p>本市の上下水道事業は、人口減少社会の進行がもたらす様々な課題が山積する中で、特に老朽化した施設や管路の更新が課題になっている。</p> <p>特に近年激甚化・頻発化する大雨や台風災害に耐え得るインフラを維持し持続可能な上下水道事業を構築しなければならない。</p> <p>そうした課題に対応するため本市では、持続可能なライフラインを維持するための「水ビジョン」と「経営戦略」を令和11年を終期として定めている。</p> <p>しかし、給水人口の減少とともに料金収入が減少している。また、上下水道局の経営環境も物価高騰や原油高、ウクライナ危機を迎えた背景の中で大変厳しい状況にある。</p> <p>一方で、DXや二酸化炭素排出量を抑えるカーボンニュートラルの取り組み等の新たな要請がある中で、「水ビジョン」と「経営戦略」を改定しなければならないと考えている。</p> <p>また、諮問事項2つめの料金のあり方についても、平成28年の水道料金の改定があった際の答申において「おおむね5年をめぐりに料金改定の必要性を検討することが適当である。」とされたが、そのタイミングであった令和2年度はコロナ禍があり、議論を見送ったところである。</p> <p>しかし、持続可能なインフラを市民のために構築していくにはどういった料金のあり方が適正であるか、審議会委員の方にはしっかり議論していただきたい。</p> <p>具体的には今後、生目台送水管更新事業などの大きなプロジェクトも</p>

	<p>控えている。そういったものを着実に実行していくには健全な財政基盤が必要と考えている。</p> <p>皆様方には料金のあり方、「水ビジョン」と「経営戦略」について忌憚のないご議論をお願いする。</p>
事務局	<p>市長は他の公務があるので、ここで退席させていただく。</p> <p>【配付資料の確認】 本日の会議資料を確認。</p> <p>宮崎市上下水道事業経営審議会条例第5条第2項の規定に基づき会長に会議の進行をお願いする。</p>
会 長	<p>議事を始める前にあいさつさせていただく。</p> <p>先程、市長から『「みやざき水ビジョン2020」及び「宮崎市上下水道局経営戦略」の改定について』と『適正な上下水道料金のあり方について』の諮問をいただいた。</p> <p>言うまでもなく上下水道事業は市民にとってなくてはならない最も身近で重要なインフラである。</p> <p>「みやざき水ビジョン2020」や「経営戦略」を理解した上で見直しを議論するとともに、適正な上下水道料金のあり方についてもこの審議会で答申しなければならない。</p> <p>我々審議会のメンバーは、学識経験者、商工業・農林業事業者の団体、自治会・婦人会の代表として、また、医療や建築・環境問題等に携わる市民の代表で構成されている。</p> <p>諮問のあった2つの課題について、委員の皆様には活発な議論をお願いする。</p> <p>議論する中で上下水道の難しい専門的用語も出てくると思うが、わからないことがあれば都度質問をしていただき理解を深めて議論を進めていくことが一番重要である。忌憚のない議論をお願いする。</p> <p>それでは審議を始める。</p> <p>まず、議事（1）「みやざき水ビジョン2020」及び「宮崎市上下水道局経営戦略」の改定について、事務局から説明をお願いする。</p>
事務局	<p>[資料1「みやざき水ビジョン2020及び宮崎市上下水道局経営戦略の改定について」により説明]</p>

<p>会 長</p>	<p>ただいまの説明について質問等はないか。</p> <p>私は「水ビジョン」と「経営戦略」の策定に審議会委員として携わった。当時から「水ビジョン」があつてから、それを達成するための「経営戦略」を作るべきではないかとの議論もあつたが、まず予算の裏付けがないと議論ができないと言うことで、「経営戦略」を1年先に策定した。</p> <p>今回は「水ビジョン」と「経営戦略」を一緒に議論して、最終的に1つにまとめて策定するということである。</p> <p>また、平成28年度に上水道の料金改定を行っている。下水道料金の改定は平成24年度で長く行っていない。</p> <p>平成28年度には、物価の上昇が続くことや利用者が減少することが予測されるので5年後に料金改定を議論するよう答申に盛り込まれた。しかし、コロナ禍があり、先送りした経緯がある。</p> <p>国からも令和7年度までには「経営戦略」を改定するよう通知されている。</p> <p>スケジュールとしては令和6年度に答申となり、早々にスタートしなければならない。</p> <p>皆様から事務局の説明に対してご意見はないか。</p> <p>それでは議事の(2)適正な上下水道料金のあり方について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料2「適正な上下水道料金のあり方について」により説明]</p>
<p>会 長</p>	<p>資料1 ページ目の人口が減って有収水量、お金の取れる水道使用量が減っていることは理解できる。</p> <p>2 ページ目の経年管の状況、40年経った管路が増えていくグラフは年度毎でなく、毎年積み上がっていく累積グラフの方がわかりやすい。</p> <p>今後予定している事業についても説明した課長さん方は目的も緊急性も理解しているだろうが、委員にとっては初見でどれだけ必要な事業なのか、予算がどれだけ必要かわからないし、資料に一切書かれていない。</p> <p>料金改定に関係する重要な事業、喫緊の課題で取り組まなければならない事業として事業名は資料に記載されているが、目的と概要と必要性、緊急性と事業費まで言葉で説明するだけでなく、資料に掲載してもらわないと料金改定の議論に着手できない。</p> <p>次回の審議会では投資・財政計画ローリングを通して事業計画の説明があると思うが、ここに参集している審議会委員が理解できないと一般の方々の理解を得られない。</p> <p>審議会委員は分野が異なる各団体等の方々だが、上下水道の専門ではないので用語も十分理解していない。</p> <p>専門用語について、企業債とは借金である。借金が水道事業だけで355億円ある。今後事業を続けていくなら、企業債を減らしていかない</p>

	<p>といけない、借金が多いけれどもこういう事業が必要なんだということを審議会委員が理解し共有しないと一般の方々の理解を得られない。</p> <p>下水道事業も同じである、宮崎処理場は老朽化が進んでおり待ったなしで改修が必要な状況だが、どこからどのような順番で進めていくのか示していただかないと理解が難しい。</p> <p>資料2の6ページに下水道の「一般会計繰入金」とあるが、本来であれば上下水道は独立採算制なので上下水道料金で賄うのが理想だが、足りないので一般会計、すなわち税金から負担している、それが予算の4分の1と多大な状況にある。</p> <p>国は下水道の使用料単価を1㎡あたり150円の目安を示しているけれども、宮崎は133円なので150円に上げないと厳しい状況だろう。</p> <p>上水道も必要な事業はあるけれども費用が高い。生目台送水管更新事業はシールド工法という、トンネルを掘る工法で非常に経費がかかる。しかし、道路交通や地下埋設物があるのでこの工法をするしかない。</p> <p>次回からの審議会ではこれからの事業計画など具体的な内容になると思う。</p> <p>喫緊の実施しなければならない事業が上下水道ともたくさんある。しかし水道料金は平成28年度から、下水道料金は24年度から上げていない。更新するにはお金がいるけれども通常の維持管理も厳しい。更に事業をするのであれば借金しなければならない。借金は多いけれども減らしながら借金しなければならない。</p> <p>このような背景を踏まえて計画策定を審議会に任されているので、非常に重い責務であることを理解しながら進めていきたい。</p> <p>審議会委員の皆様にご大まかに現状とこれからのことを理解していただくため説明したが、委員の皆様から意見はないか。</p> <p>局長から意見や補足はないか。</p>
<p>上下水道 局長</p>	<p>会長から厳しいご指摘をいただいた。</p> <p>会長の説明にあった投資・財政計画ローリングとは直近の決算見込みを基に今後想定される事業の概算額を11年度まで組み入れている。借金も新たに借りる額よりも返済する額を大きくしながら新規事業を行っていきけるような計画で、次回の審議会でお示しする。</p> <p>我々専門家集団の目線で資料ができていたのかなと反省している。次回では改善させていただく。</p>
<p>会 長</p>	<p>委員の皆様からご意見はないか。</p>
<p>審議会委員</p>	<p>予算が厳しいことは納得している。近いうちに料金を改定しないといけないことも理解している。</p> <p>平成28年の上水道料金の改定では2割ほど値上がりし、生活が厳しいとの声を多く聴いた。</p> <p>次回の改定は2割とか大きい改定率は避けて、何年間かに小分けする</p>

	<p>ようにしてほしい。</p> <p>また、1ヶ月の生活費が20万円の家庭もあれば年金生活者等の10万円の家庭がある。</p> <p>10万円の家庭にとって上下水道料金が1ヶ月千円上がるのは非常に大きい。こういった世帯にどう手当てしていくのか。料金改定が生活にどのような影響を及ぼすかももう少し考えて欲しい。</p> <p>宮崎市は全国的には所得が低い。福岡市と比較したとき水道料金はほぼ同じだが、福岡市は物価が高く相対的に水道料金は安い。宮崎市の生活水準や所得から考えると福岡市より相対的に高いのではないか。</p> <p>今後の改定を考えるにあたって宮崎市の生活水準を考えて、どこまで耐えられるかも考慮してほしい。</p> <p>他の自治体では住民税非課税世帯等に上下水道料金の減免制度を設けている。もし、値上げするのであればセーフティネットをどうするかも検討に加えてほしい。</p>
会 長	<p>単に20m³の使用料でなく、他市の物価や所得水準の差等も考慮した料金を事務局には検討していただきたい。</p> <p>他に質問等はないか。</p>
審議会委員	<p>資料2の7ページの下水道の使用料単価133円と8ページの133.03円と151.2円、13ページの水道料金2,690円と14ページの下水道使用料2,210円について教えてほしい。</p>
事務局	<p>133円とは下水道使用料としての1年間の収益を有収水量で割った額であり、1m³の使用量に対して133円の収入があったということで8ページの133.03円の端数を除いた値である。</p> <p>汚水処理単価151.2円は汚水を処理するためにかかった費用を有収水量で割った金額である。</p> <p>1m³の汚水を処理するのに155.2円かかり、収入は133.03円しかなく、その差分が不足していることを示している。</p> <p>13ページの水道料金2,690円と14ページの下水道使用料2,210円は皆様のご家庭で1ヶ月に20m³使用した場合の料金を示したものである。</p>
会 長	<p>他に意見はないか。</p>
審議会委員	<p>7ページの総務省の下水道使用料単価150円の通知が平成26年に出されているが、9年前である。</p> <p>物価高騰で管路等の資材も値上がりしていると思われるが、150円の単価の内訳を見直す必要があるのではないか。総務省も見直しをしているのではないか。</p> <p>全国的な平均であり、取水の状況や人口の密集具合で経費のかかり方も違うので、宮崎市の事情を反映した丁寧な説明をお願いします。</p>

会 長	<p>総務省の通知に縛られて議論が制約されてしまう場合もあるので、宮崎市の場合には最低いくら必要なのかを提示してほしい。</p> <p>総務省から新しい情報はないのか。</p>
事務局	<p>使用料単価 150 円は平成 17 年に示されて以来変更されていない。</p>
会 長	<p>他に質問やご意見はないか。</p>
審議会委員	<p>資料 1 の 3 ページで「水ビジョン」と「経営戦略」を統合するとのことだが、終期は「水ビジョン」と同じ令和 11 年度か。</p> <p>また、連携する宮崎市第 6 次総合計画はいつ頃策定されるのか。</p>
上下水道局長	<p>第 6 次総合計画は策定作業中で、次期ビジョンは後追いで進めることになる。</p> <p>現在のビジョンは令和 6 年度までとし、令和 7 年度から「水ビジョン」と「戦略」を統合した新しい計画とする。</p>
会 長	<p>他に質問やご意見はないか。</p>
審議会委員	<p>資料を事前送付していただいたが、会議の 2 日前だった。1 週間前には送付してほしい。</p>
事務局	<p>次回は改善する。</p>
会 長	<p>これで議事を終了としたいと思う。この後は事務局にお任せする。</p>
事務局	<p>ここで、局長からお礼の言葉を申し上げる。</p>
上下水道局長	<p>委員の皆様には、お忙しい中に当審議会にご出席を賜り、心から感謝申し上げます。</p> <p>本日は冒頭で市長から諮問をさせていただいた。2 つとも非常に重いテーマと感じている。</p> <p>上下水道局は市の組織ではあるが、業務は市役所の仕事ではない。上下水道局は地方公営企業法が一番上位の法律になる。その 3 条に「経営の基本原則」があり「常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されなければならない」と定められている。</p> <p>「企業の経済性」とは合理性・能率性であり、常に無駄なく能率的に業務を行い、公共の福祉を増進させることと理解している。</p> <p>しかし、「企業の経済性」を追求しながら仕事をしているが、その中で越えられない壁があると感じている。例えば人口密度等であり、時には非効率的な投資をせざるを得ない場合がある。</p> <p>来年度にかけて 2 回の答申をいただくことになる。その上に施策評価等も実施する予定である。非常に内容的に重い 2 年間になるが引き続きよろしく願います。</p>
	<p>最後に、事務局より事務連絡である。</p>

事務局	<p>本年度は諮問にあるとおり、「水ビジョン」及び「経営戦略」の改定、適正な上下水道料金のあり方という重要事項についてご審議いただくため、開催頻度が高くなる予定である。ご多忙と思うが、ご理解いただくようお願いする。</p> <p>次回の会議の日程は8月23日（水）14時の開催を予定している。別途文書にてご案内するが、皆様方におかれては、日程の調整につきよろしくをお願いする。</p> <p>以上で令和5年度第2回 宮崎市上下水道事業経営審議会を終了する。</p>
	(閉会)